

算報告

定例議会で認定されました。
に運営されている市政。
があり、どのような目的に支出したのか。
す。

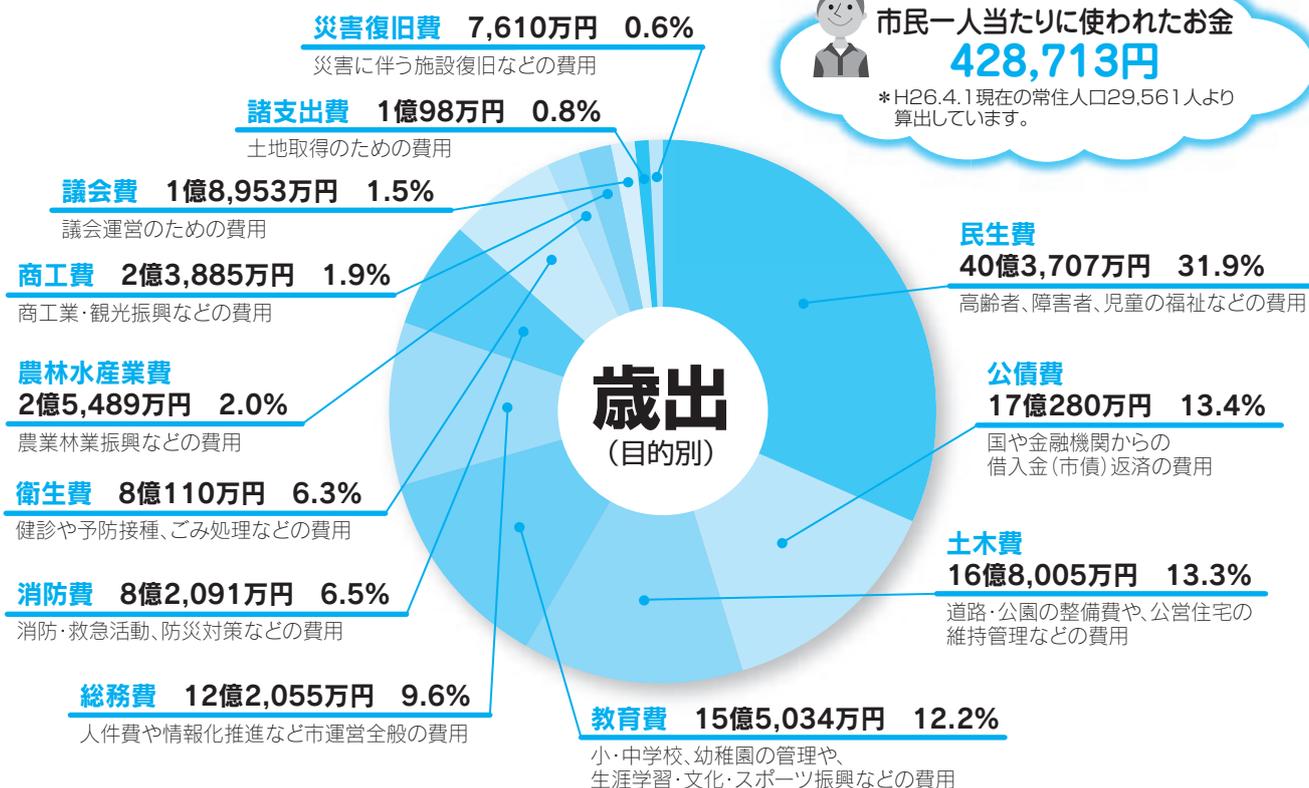
問合せ 財政課 ☎23-2113

一般会計 歳出総額

126億7,317万円

(前年度比△0.5%)

歳出は、用途を目的別で見ると、社会福祉等に使われる「民生費」がトップで、全体の約3割を占めています。昨年からの伸び率では、学校等の耐震化を行った「教育費（昨年比21.1%増）」、津波避難階段等を整備した「土木費（昨年比17.0%増）」が上位にあげられ、全体では、約6,500万円の減（昨年比△0.5%）となりました。



特別会計の決算

会計名	歳入	前年度比	歳出	前年度比
国民健康保険	34億3,017万円	1.5%	34億1,528万円	1.1%
後期高齢者医療	2億9,464万円	2.6%	2億9,459万円	3.1%
介護保険(保険事業)	25億530万円	△0.5%	23億7,627万円	△3.3%
介護保険(介護サービス)	883万円	32.2%	854万円	34.1%
霊園事業(秋山菖蒲霊園)	362万円	3.9%	362万円	3.9%
霊園事業(高萩霊園)	843万円	△44.2%	241万円	△83.1%

公営企業会計の決算

会計名	収入	前年度比	支出	前年度比	
水道事業	収益的収支	7億5,591万円	7.0%	5億7,709万円	5.4%
	資本的収支	1億3,225万円	68.2%	4億735万円	△10.0%
工業用水道事業	収益的収支	2億958万円	9.2%	1億4,423万円	1.3%
	資本的収支	1,450万円	皆増	1億682万円	59.8%

市債の状況



市債残高は、住宅公社解散に伴い市債(約47億円)を発行した平成22年度をピークに減少しています。

財政調整基金の状況



基金残高は、平成20年度から取り組んでいる行財政健全化計画により、緩やかに増加しています。

一般会計 歳入総額

133億8,862万円

(前年度比△1.0%)

歳入は、自主財源の代表的なものである「市税」が約40億3,000万円(昨年比約1億円の減)、依存財源の代表的なものである「地方交付税」が約28億2,000万円(昨年比約2,200万円の減)となり、全体では、約1億3,500万円の減(昨年比△1.0%)となりました。

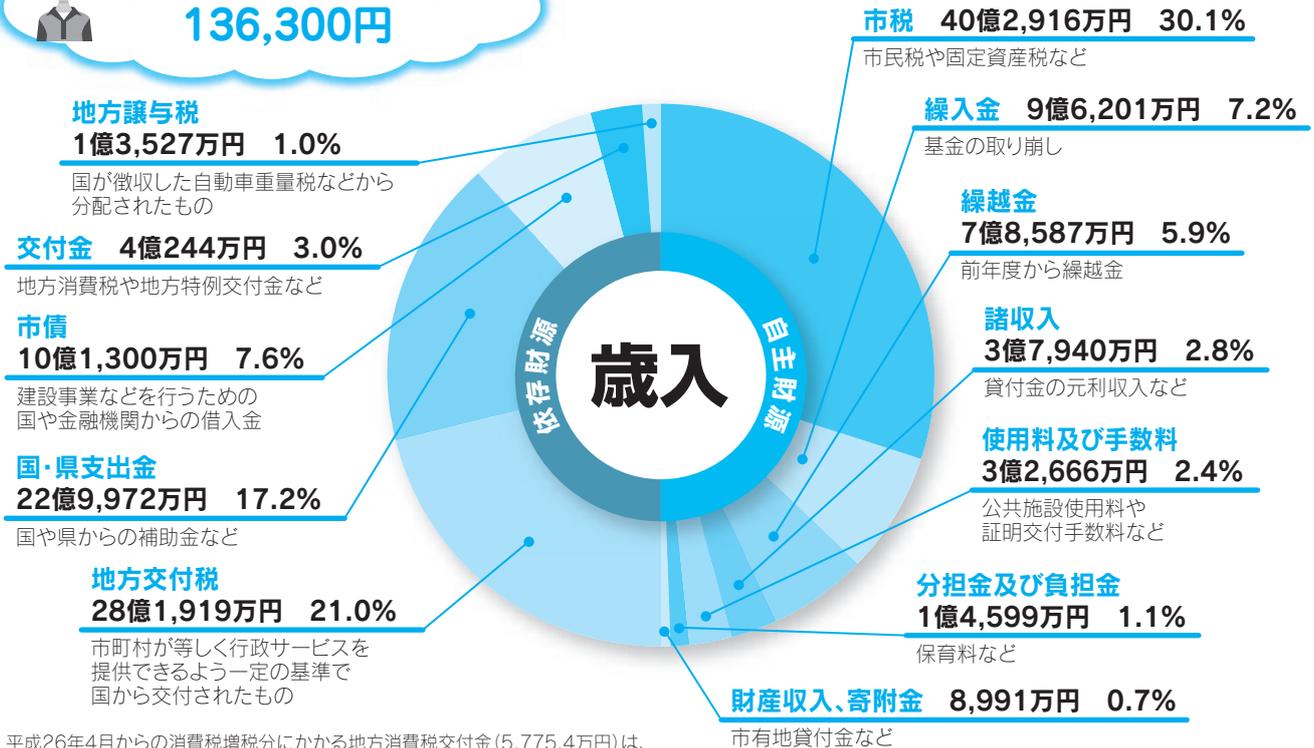
平成26年度

決

平成26年度の決算が9月皆さんの大切な税金をもと昨年度は、どれくらいの収入決算の概要をお知らせしま



市民一人当たりの負担(納税額)
136,300円



平成26年4月からの消費税増税分にかかる地方消費税交付金(5,775.4万円)は、全て社会保障費に充てられています。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」により、地方公共団体は、毎年度、実質的な赤字や、外郭団体を含めた実質的な将来負担などを表す指標(健全化判断比率と資金不足比率)を議会に報告し、公表しています。

市の数値は、下表のとおりいずれの指標も地方公共団体の財政の健全性を示す早期健全化基準以下であり、適正な財政運営といえます。

今後も、健全な財政を維持しながら、より効果的かつ効率的な財政運営に努めていきます。

健全化判断比率

指標名と内容		平成24年度	平成25年度	平成26年度	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計等の赤字の比率	該当なし	該当なし	該当なし	13.97
連結赤字比率	一般会計や公営企業会計を含めた市全体の赤字の比率	該当なし	該当なし	該当なし	18.97
実質公債費比率	市税等の年間収入に対して、公債費(借入金返済額)が占める比率	17.2	17.2	15.4	25.0
将来負担比率	市税等の年間収入に対して、将来にわたって支払う実質的な負担(借入金など)の比率(100%が1年分相当)	128.2	120.4	114.8	350.0

資金不足比率

指標名と内容		平成24年度	平成25年度	平成26年度	早期健全化基準
資金不足比率	水道事業	該当なし	該当なし	該当なし	20.0
	工業用水道事業	該当なし	該当なし	該当なし	20.0

平成26年度はこんな事業に取り組みました ～主な事業～

「支えあい、健やかな暮らしができるまち」づくり

医療福祉給付費 妊産婦・小児等の医療費の助成。市拡充もあり	173,944千円
地域少子化対策強化経費 結婚から育児まで一貫したホームページの開設	4,526千円
子育て安心ダイヤル経費 乳幼児・妊産婦の24時間対応フリーダイヤルサービス	1,856千円
こんにちは赤ちゃん事業経費 出産祝いとして育児用品購入の助成券交付	982千円

「安心して安全に暮らせる環境と調和したまち」づくり

非常用給水施設整備事業 小・中学校の既設受水槽を活用した給水施設整備	22,659千円
公営住宅避難設備整備事業 市営高浜住宅に屋上への緊急避難用階段を整備	262,747千円
再生可能エネルギー導入促進事業 高萩中・松岡中に太陽光発電システム等を整備	16,632千円

「暮らしやすい快適なまち」づくり

道路ストック総点検調査経費 主要幹線道路等の施設点検と修繕計画作成	3,434千円
市道舗装改良事業 市道の補修や改修工事等	27,324千円

「地域の活力があふれるまち」づくり

ハッピーサポート事業経費 男女の出会いの場を創出する催し	500千円
新婚世帯支援経費 若者の定住支援として新婚家庭へ家賃の助成	2,380千円
JVAビーチバレーボール大会誘致経費 公式大会の開催にかかる運営費用負担	800千円

「豊かな心を育み、萩っ子がいきいきと育つまち」づくり

秋山小学校校舎改築事業 秋山小北側校舎の老朽化による改築	94,031千円
高浜スポーツ広場整備事業 敷地外への防球のためバックネット改修	21,778千円

「ともに力をあわせてつくる自立したまち」づくり

市制施行60周年記念事業経費 記念式典開催や記念誌発行など	4,317千円
アイラブ高萩・まちづくり推進経費 市民団体等が行う地域活性化事業への支援	2,140千円

東日本大震災復旧・復興関係

本庁舎災害復旧事業	55,998千円
-----------	----------

高萩市の決算を「家計簿」に例えてみました

市の平成26年度決算を紹介しましたが、歳入歳出を性質別に分け、仮に「年収529万円※」の世帯として一般家庭の項目に置き換えてみました。目安としてご覧ください。



市の歳入

市財政の項目	金額	率 (%)
市税	40億 2,916万円	30.1%
繰入金	9億 6,201万円	7.2%
使用料手数料、分担金負担金、諸収入、財産収入	9億 4,196万円	7.0%
繰越金	7億 8,587万円	5.9%
地方交付税、交付金、地方譲与税	33億 5,690万円	25.0%
国県交付金	22億 9,972万円	17.2%
市債	10億 1,300万円	7.6%
合計	133億 8,862万円	100.0%

家計簿の収入

家計簿の項目	金額
給料（基本給）	159万円
貯金の引出し	38万円
パート収入など	37万円
昨年の残金	31万円
父母などからの支援	133万円
医療費助成や奨学金など	91万円
借金	40万円
合計	529万円

市の歳出

市財政の項目	金額	率 (%)
人件費	24億 4,888万円	19.3%
扶助費	22億 4,334万円	17.7%
公債費	17億 226万円	13.4%
物件費、補助費	22億 6,386万円	17.9%
繰出金	17億 3,784万円	13.7%
投資及び出資金、貸付金	4,008万円	0.3%
積立金	2,357万円	0.2%
普通建設事業費、維持補修費、災害復旧事業費	22億 1,334万円	17.5%
合計	126億 7,317万円	100.0%

家計簿の支出

家計簿の項目	金額
食費	97万円
医療費、介護費など	89万円
ローンの返済	67万円
光熱水費や生活用品の購入、町内会費など	89万円
子どもへの仕送り	69万円
知人への援助や貸付など	2万円
貯金	1万円
自宅の増改築や修繕、車の買換えなど	87万円
合計	501万円

家計簿で見ると、収入総額の529万円のうち、自主財源に相当する給料やパート収入、貯金引出しなどは約265万円です。義務的経費に相当する食費や医療・介護費、ローン返済として約253万円を支出すると残金がほぼ無くなってしまうため、光熱水費や生活用品購入、子どもへの仕送りをするために、援助金や借金をして何とか家計をなっています。

※「厚生労働省 平成26年国民生活基礎調査」の1世帯当たりの平均所得額を参考にしました。